

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	010	彫刻のあるまちづくり推進事業費	事業 3	001	彫刻のあるまちづくり推進事業費

事業の概要

1 事業概要〔P〕

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 彫刻のあるまちづくり事業の市民理解を深めるとともに、野外彫刻の適切な維持管理に努める。
- ・目 的 本市の文化芸術の振興
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 野外彫刻の設置による文化芸術の振興、彫刻の長寿命化
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画〔P〕

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 698千円（ ）
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 2,801千円（ ）
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 18,560千円（ ）
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容〔D〕

- ・令和5年度・彫刻点検委託の実施
 - ・彫刻修繕の実施
 - ・彫刻損害保険の加入
 - ・野外彫刻アートウォーキングの開催
 - ・彫刻絵画展の開催
- ・令和6年度・彫刻修繕の実施
 - ・彫刻損害保険の加入
 - ・野外彫刻アートウォーキングの開催
 - ・秦野丹沢野外彫刻展推進懇話会の開催
 - ・秦野丹沢野外彫刻展（マーケット展（審査））の開催

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

野外彫刻のメンテナンスのほか、ボランティアである彫刻愛し隊の協力を得て日常的な点検を行い、彫刻の長寿命化を図る

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	010	彫刻のあるまちづくり推進事業費	事業 3	001	彫刻のあるまちづくり推進事業費

ている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

表丹沢において、にぎわいの創出と観光客誘致を図るため、市制施行70周年を記念して、秦野丹沢野外彫刻展「OMOTAN Sculpture Award」を開催する。新たな野外彫刻を設置し、彫刻のあるまちを謳っている本市を市内外にPRするとともに、来訪者が写真を撮りたくなるスポットを創出する。

また、彫刻のあるまちづくり事業の市民理解を深めるとともに、野外彫刻の適切な維持管理に努める。

- ・ 秦野丹沢野外彫刻展（マケット展（一般公開））の開催
- ・ 秦野丹沢野外彫刻展で入賞した作品 2 基の実物制作・設置
- ・ 彫刻修繕の実施
- ・ 彫刻損害保険の加入
- ・ 野外彫刻アートウォーキングの開催
- ・ 彫刻&まち巡りデジタルスタンプラリーの開催

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
新たに開催する秦野丹沢野外彫刻展に伴う経費の増による増額
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

今後も継続して野外彫刻の維持管理、市民啓発に努める。また、新たに設置する野外彫刻がインスタ映えスポットとなるよう整備し、表丹沢の魅力の向上に努めるとともに、観光客誘致を図る。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 17, 592千円（15, 466千円）
 - ・ 内 容 表丹沢において、にぎわいの創出と観光客誘致を図るため、秦野丹沢野外彫刻展を開催する。
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	020	文化祭開催経費	事業3	001	文化祭開催経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野市文化団体協議会に加盟している団体を主管として各部門の発表や展示を行うことにより文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供する。
- ・目 的 市民文化の向上と振興を図るため、文化・芸術活動の発表、展示及び鑑賞の機会を提供する。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 伝統的芸能、生活文化が継承され、市民の鑑賞機会が確保される。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 620千円（ ）
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 620千円（ ）
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 620千円（ ）
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 9月から12月に掛けて、秦野市文化団体協議会に加盟している団体を主管として各部門の発表や展示を行うことにより文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供した。
- ・令和6年度 9月から11月に掛けて、秦野市文化団体協議会に加盟している団体を主管として各部門の発表や展示を行うことにより文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供した。また、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の休館により、保健福祉センター等を使用して開催した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

伝統的芸能・生活文化の担い手が少なくなる中、文化祭の開催を通じて市民の鑑賞機会を確保し、芸能文化の意義を市民に伝えていくことは重要であり、事業を継続する必要がある。

また、活動の拠点であるクアーズテック秦野カルチャーホールが改修工事により休館となっており、引き続き代替会場での開催が必要となる。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	020	文化祭開催経費	事業 3	001	文化祭開催経費

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕

9月から11月に掛けて、秦野市文化団体協議会に加盟している団体を主管として各部門の発表や展示を継続して開催することにより、文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供する。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

文化祭実施事業数：R4＝14、R5＝14、R6＝12

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

主管する文化団体協議会と協働し、工夫改善しながら実施していく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	030	市展、子どもの市展開催経費	事業 3	001	市展、子どもの市展開催経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 美術・写真・書道の3部門の公募作品を展示する「市展」と、美術・写真・書道・報徳の4部門で小・中学生を対象とした「子どもの市展」を開催する。
- ・目 的 市民の文化芸術活動の向上を図るとともに、将来の市民文化芸術活動の担い手を育成する。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 より多くの市民が文化芸術の創作活動に携われるようにするとともに、創作作品を鑑賞できる機会をつくる。
- ・目 標 値 市展3部門（美術・書道・写真）の来場者数（年間） 3,500人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 837千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 5,433千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 4,195千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市展：美術・写真・書道の3部門の公募展を実施した。
子どもの市展：小・中学生対象に美術、写真、書道、報徳の4部門の公募展を実施した。また、令和5年度に限り美術の部及び写真の部に震生湖誕生100年記念賞を設けた。
- ・令和6年度 市展：美術・写真・書道の3部門の公募展を実施した。
子どもの市展：小・中学生対象に美術・写真・書道・報徳の4部門の公募展を実施した。
なお、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の改修工事に伴う休館により、市展はメタックス体育館はだの（総合体育館）、子どもの市展は本町公民館で開催した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・「市展」は各分野とも質の高い作品が出品され、創作活動の発表の場を確保することで市民の創作意欲を高めるとともに、市民が芸術作品に広く触れられるようにすることができた。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	030	市展、子どもの市展開催経費	事業 3	001	市展、子どもの市展開催経費

・「子どもの市展」は、多数の子どもたちの創作意欲、芸術感性を高める機会をつくることができた。
 ・令和7年度においても、展示会場であるクアーズテック秦野カルチャーホールが改修工事に伴う休館となっており、代替会場で開催する必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・市展：美術・写真・書道の3部門合同で、第55回公募展をメタックス体育館はだの（総合体育館）メインアリーナを会場に開催する。
- ・子どもの市展：小・中学生を対象に、美術・写真・書道・報徳の4部門の第43回公募展を本町公民館で開催する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

次世代枠の応募促進のため報償費を増額したが、会場設営委託料の減額により事業費全体では減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

参考見積による

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各主管団体等と連携を図りながら、出展者、来場者を増やすため周知方法を検討するとともに、市展・子どもの市展を通じて文化芸術活動の担い手を育成していく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 12千円（12千円）
- ・内 容 第55回秦野市展において、市制施行70周年記念賞を設置する

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	040	文化団体協議会補助金	事業3	001	文化団体協議会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市内で活動する文化団体協議会の活性化を図り、市民文化活動を推進するため、団体が実施する文化振興大会及び会員視察研修に係る事業経費に対し、その一部を補助する。
- ・目 的 文化団体の相互連携による文化芸術活動の振興を図る。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 文化団体活動の活性化
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 108千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 108千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 100千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援した。
- ・令和6年度 文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

文化団体協議会による多彩な分野の文化芸術発表会を支援し、多くの市民が鑑賞できる機会をつくることができた。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

補助金額の減額

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	040	文化団体協議会補助金	事業 3	001	文化団体協議会補助金

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
加盟団体数：R4年 16団体、R5年 16団体、R6年 14団体

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
文化団体協議会の文化振興大会や視察研修事業を補助支援する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	050	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費	事業3	001	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 文化会館の管理運営に必要な経費
- ・目 的 施設の安全確保、機能維持を図る
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 安全かつ計画的な利用環境の提供
- ・目標値 文化会館の入場者数、施設利用者数（年間） 200,000人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市文化会館条例
- ・計 画 秦野市総合計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :

- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 244,713千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 1,647,054千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,068,888千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 指定管理制度への移行2年目となり、指定管理者と連携して文化会館を管理運営した。
また、特定天井改修工事に向けた実施設計委託業務を実施した。
指定管理制度導入1年目の評価をするため、文化会館指定管理者選定評価委員会を開催し外部評価を行った。
- ・令和6年度 指定管理制度への移行3年目となり、指定管理者と連携して文化会館を管理運営した。
また、特定天井改修工事に係る入札を執行したが、2度の不成立により、工法変更を行い、新たな工法での実施設計委託業務を実施した。
指定管理制度導入2年目の評価をするため、文化会館指定管理者選定評価委員会を開催し外部評価を行った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- (1) 令和5年度の施設利用者数は約94,000人だった。新型コロナウイルスの影響が残っているが、指定管理者選定評価委員会からの指摘や、指定管理者のノウハウを活かした事業実施が必要。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	050	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費	事業3	001	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費

(2) 総合計画に位置づけられた文化会館の大規模改修は、安全な利用環境を確保するため、早期に実施する必要がある。

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 指定管理者と連携して文化会館を管理運営する。
 特定天井等の大規模改修を実施する。
 設備の老朽化に伴う改修・更新工事を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
 特定天井改修等工事の工法変更に伴う工事費の減額
 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 突発的な休館や利用停止が生じないよう、指定管理者と連携して適切に管理運営を行う。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 該当なし
 (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
 (3) 自然災害対策への取組
 該当なし
 (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 指定管理制度の実施

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	060	宮永岳彦記念美術館管理運営費	事業 3	001	宮永岳彦記念美術館管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 宮永岳彦記念美術館の適切な管理運営を行うとともに、宮永作品のさらなる周知を図り、優れた芸術作品の鑑賞や創作を体験できる自主事業を推進する。
- ・目 的 宮永岳彦記念美術館運営による文化芸術作品の鑑賞、市民の創作活動の展示発表の場の提供を通じて文化振興を図る。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 より多くの市民が宮永作品に触れ、芸術鑑賞ができるようにするとともに、市民の自主的な創作活動の発表の機会をつくる。
- ・目 標 値 宮永岳彦記念美術館及びはだの浮世絵ギャラリーの来場者数28,500人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市立宮永岳彦記念美術館条例
- ・計 画 秦野市総合計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 16,064千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 21,196千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 36,325千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 美術館ワクワク探検、企画展「優美な世界」、ギャラリーコンサート
- ・令和6年度 美術館ワクワク探検、企画展「宮永岳彦 何者?」、企画展「衣装でみる宮永岳彦 ～伝統と流行～」、ギャラリーコンサート

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

多面的な表現者として多彩に活躍した宮永岳彦の作品を通じて、その人物像に迫った展示を行ったほか、自主事業の実施を通して新たな鑑賞者を誘引することに努めた。引き続き集客に努め、優れた芸術作品を広く鑑賞する機会を提供していく。来館者から新たなミュージアムグッズの要望が寄せられており、集客増のための有効な手段として、引き続き美術館の魅力を高める新グッズの製作・提供に取り組む。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	060	宮永岳彦記念美術館管理運営費	事業3	001	宮永岳彦記念美術館管理運営費

また、寄附を受けた名古屋の土地内の樹木について、竹やぶや大木化した樹木があるため、計画的な伐採・整備に取り組む必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

引き続き、宮永画伯の魅力を引き出すような展示を行うとともに、自主事業の開催などにより新たな来館者の誘引に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

照明設備更新工事の実施による増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

宮永画伯及び美術館の魅力を引き出すための魅力ある企画展及び自主事業に取り組む。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 15,200千円（1,600千円）

・内 容 照明設備更新工事（照明のLED化）

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	070	はだの浮世絵ギャラリー運営費	事業3	001	はだの浮世絵ギャラリー運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 はだの浮世絵ギャラリーの定期的な企画展示、浮世絵の解説、広報等のギャラリー運営を行う。
- ・目 的 市の貴重な文化芸術資源である浮世絵を広く市民が鑑賞できる機会を提供する。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 より多くの市民が浮世絵を鑑賞できるようにし、日本の伝統文化への理解を深める。
- ・目 標 値 宮永岳彦記念美術館及びはだの浮世絵ギャラリー来場者数28,500人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 1,405千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 1,636千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 1,660千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容[D]

- ・令和5年度 企画展示（6回）、ギャラリートーク（6回）、ホームページでの浮世絵作品紹介
- ・令和6年度 企画展示（6回）、ギャラリートーク（6回）、ホームページでの浮世絵作品紹介

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

浮世絵に関する専門的知識・技術を持った職員による企画展示やギャラリートークなどにより、質の高い展示運営を行うことができた。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

約2か月おきに企画展示を更新するとともにギャラリートーク等を開催し、多くの集客や作品紹介に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	070	はだの浮世絵ギャラリー運営費	事業3	001	はだの浮世絵ギャラリー運営費

・昇給に伴う会計年度任用職員の報酬の増額

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
会計年度任用職員月額報酬：R6年度 92,983円、R7年度 110,781円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
より多くの見学者に足を運んでもらえるようマスメディア等を活用し広報・PRに取り組む。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	080	文化振興基金活用事業費	事業 3	001	文化振興基金活用事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGs の該当目標

- ・内 容 文化振興基金を活用し、市民等への文化芸術活動に助成を行う。
- ・目 的 市民の文化芸術活動の振興
- ・SDGs 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 文化振興基金を活用し文化芸術活動に助成をすることで、より多くの市民が文化芸術に接することとなり、質の高い文化芸術活動の展開が期待できる。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市生涯学習推進計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,120千円 ()
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 2,147千円 ()
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,147千円 ()
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円 ()

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 文化振興基金活用事業助成の公募を行い、8件の申請があった。
文化振興基金活用懇話会の助言を受け、6件の助成決定を行った (うち1件は助成辞退)。
- ・令和6年度 文化振興基金活用事業助成の公募を行い、7件の申請があった。
文化振興基金活用懇話会の助言を受け、7件の助成決定を行った (うち1件は助成辞退)。

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

文化振興基金活用事業助成制度について、より多くの市民が文化芸術に接し、幅広い文化芸術活動が展開されるよう、さらなる周知を図る必要がある。

制度開始から6年が経過し、文化芸術団体のニーズや課題が多様化する中で、文化芸術活動のさらなる発展に向けて、制度の見直しを図っていく。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	080	文化振興基金活用事業費	事業3	001	文化振興基金活用事業費

文化振興基金活用事業助成制度の広報、公募、決定、交付
文化振興基金の新たな体制への移行

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
増減なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

本市の文化振興を図るため、文化振興基金活用事業助成制度についての広報活動を充実させ、より地域貢献性や創造性のある事業への助成を行う。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	090	文化振興基金積立金	事業3	001	文化振興基金積立金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 文化振興基金への積立てを行う。
- ・目 的 市民の個性豊かな創造性に富んだ文化活動を推進するための安定的な財政基盤を市民と一体となって築く。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市民と一体となって文化芸術活動を推進するための安定的な財政基盤を築く。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市文化振興基金の設置、管理及び処分に関する条例
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 65千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 191千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 180千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 文化振興基金の利子と文化活動推進寄附金の積立
- ・令和6年度 文化振興基金の利子と文化活動推進寄附金の積立

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

文化振興基金の周知のため、基金活用事業助成制度と合わせてチラシやポスターにより広報活動を行っているが、今後のさらなる周知方法の検討が必要

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

より多くの寄附がなされるよう、継続して広報活動に取り組む。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	090	文化振興基金積立金	事業 3	001	文化振興基金積立金

過去 5 年の寄附実績から積算したため、増額

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和 3年度 107,333円
 令和 4年度 311,808円
 令和 5年度 60,338円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 より多くの寄附がなされるよう、広報活動を継続する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 該当なし
 (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
 (3) 自然災害対策への取組
 該当なし
 (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	100	文化推進事務費	事業3	001	文化推進事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 行政としての総合的な観点からの市民文化振興の事務を行う。
- ・目 的 文化芸術振興が円滑になされるようにする。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 文化団体の活動が円滑になされるようにする。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 8千円（ ）
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 12千円（ ）
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 11千円（ ）
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市内文化活動への後援等を通じた支援ほか、文化活動の連携調整。
- ・令和6年度 市内文化活動への後援等を通じた支援ほか、文化活動の連携調整。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

文化芸術活動団体事業の名義後援事務などを通じて、文化芸術活動の支援ができた。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市内文化活動への後援等を通じた支援のほか、文化活動の連携調整を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- #### (1) 増減理由
- 該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業 1	013	0 1 0 2 0 1 1 2
事業 2	100	文化推進事務費	事業 3	001	文化推進事務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
文化芸術活動への支援を行う。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	13	地域活動推進費	事業1	014	01020113
事業2	060	外国籍市民支援事業費	事業3	001	外国籍市民支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市民ボランティア団体と連携し、日本語教室や国際理解講座等の支援事業を展開する。
- ・目 的
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
10 人や国の不平等をなくそう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市民が身近に国際社会を感じ、外国籍市民と共に暮らしやすい地域づくりが図られる。
- ・目標値 国際理解事業等の年間参加人数220人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 「秦野市総合計画」、「秦野市生涯学習推進計画」

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 794千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 789千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 879千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 日本語教室、国際理解講座、かながわ医療通訳派遣システム分担金
- ・令和6年度 日本語教室、国際理解講座、かながわ医療通訳派遣システム分担金、外国籍市民ニーズ調査

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・より多くの市民及び外国籍市民が事業に参加できるよう、周知を図る。
- ・生活習慣や言語の違いなどから、独自のコミュニティ組織を中心に生活している可能性があるため、外国籍市民のコミュニティとの交流を図る必要がある。

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

- ・日本語教室、国際理解講座、国際交流フェスティバルの開催により生活支援と異文化理解を促進する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	13	地域活動推進費	事業1	014	01020113
事業2	060	外国籍市民支援事業費	事業3	001	外国籍市民支援事業費

・今後も増加が見込まれる外国籍市民への細やかな支援等に役立てるため、外国籍市民コミュニティとの交流に努める。
 ・県の市町村支援事業を利用したニーズ調査の結果を基に、外国籍市民が共生する地域づくりを促進するため、これまでの事業の内容見直しや改善を検討する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

国際交流協会が設立40周年を迎えるに当たり、外国籍市民が共生する地域づくりを促進することについて、新たな事業展開等を実施することに伴う増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

外国籍市民の数が増加傾向にある中、関係機関やボランティア団体等と協力しながら日常生活面の支援や相談業務、日本語学習支援の充実を図る。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	010	都市交流事業費	事業3	001	都市交流事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市民友好団体と協働し、姉妹・友好都市との市民間の交流機会の拡大に努める。
- ・目 的 市民の国際理解と平和意識を高める。
- ・SDGs 16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 国際性豊かな市民意識の醸成と、平和意識の高揚が図られる。
- ・目標値 国際交流事業の年間参加者数410人以上（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 「秦野市総合計画」、「秦野市生涯学習推進計画」

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 7,364千円（ ）
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 12,617千円（ ）
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 11,312千円（ ）
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度
 - ・パサデナ市との交流事業の実施（青少年訪問団の派遣、青少年オンライン交流等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（坡州市代表団受入、秦野市代表団派遣等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流支援補助金の交付）
 - ・国際交流事業については、関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努めた。
- ・令和6年度
 - ・パサデナ市との交流事業の実施（姉妹都市提携60周年記念事業、青少年オンライン交流等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（青少年相互交流事業、秦野市少年サッカー交流（訪問）、市民親善訪問団（訪問）等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流支援補助金の交付）
 - ・国際交流事業については関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努めた。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	010	都市交流事業費	事業3	001	都市交流事業費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
- ・民間団体主体の自主的な交流の促進を図る。
 - ・パサデナ市とは姉妹都市提携60周年を記念して、パサデナ市民・青少年演奏団が来秦し、記念演奏会を開催するなど交流を深めた。青少年交流の促進を図るため、隔年事業として青少年をパサデナ市に派遣する。
 - ・坡州市との交流事業については、相互訪問・交流事業を実施することができた。
 - ・国内姉妹都市交流では、直近交付団体からの聞き取りで、事業継続意思があること、諏訪市訪問に係る経費の値上げによる団体負担が増加していることが分かった。有事の際の支援など、姉妹都市との交流を続けることで得られるメリットも多いことから諏訪市交流促進事業補助金を継続する。
- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
- ・パサデナ市との交流事業の実施（青少年派遣事業、オンライン交流会等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（青少年相互交流事業、サッカー交流事業（来秦）、坡州市長・市民訪問団等歓迎事業等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流支援補助金の交付）
 - ・国際交流事業については、関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努める。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
- (1) 増減理由
- パサデナ市60周年記念事業終了に伴う減額。
坡州市友好都市提携20周年に向けた記念交流事業の実施に伴う増額。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
- ・国際交流は、民間同士の草の根交流を基本として、市民・友好協会等各団体と協力して進める。
 - ・青少年交流については、引き続き教育委員会と協力し、次代を担う青少年の異文化交流、国際感覚の醸成を図る。
 - ・行政においても、相互交流を通して、市民の交流を先導する。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
- 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
- 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- 該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	020	平和推進事業費	事業3	001	平和推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市民と協働して平和啓発事業を推進するとともに、市民の主体的な平和学習等を促進する。
- ・目 的 平和都市宣言及び平和の日の趣旨を広め、市民の平和意識を高める。
- ・SDGs 16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 平和意識の高揚が図られる。
- ・目 標 値 平和啓発事業参加者数2,640人（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 「秦野市総合計画」、「秦野市生涯学習推進計画」

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 1,260千円（ ）
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 1,514千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 1,488千円（ ）
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容[D]

- ・令和5年度
平和の日事業（ピースキャンドルナイトなど）
平和の灯モニュメントの維持管理
市民と協働した平和を考えるフォーラム
親子ひろしま訪問団
- ・令和6年度
ウクライナの子 日本の子 友達絵画展を実施
平和の日事業（ピースキャンドルナイトなど）
平和の灯モニュメントの維持管理
市民と協働した平和を考えるフォーラム
親子ひろしま訪問団

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業 1	019	0 1 0 2 0 1 1 8
事業 2	020	平和推進事業費	事業 3	001	平和推進事業費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
親子ひろしま訪問団では団員が通う学校に被爆アオギリ二世の植樹を行い、その際に団員が訪問団や被爆アオギリ二世について話をすることで原爆や戦争の悲惨さ、命の尊さをより多くの秦野市の児童生徒に伝えることができた。
- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
平和を希求する自治体として、引き続き市民へ平和意識を啓発していくため、被爆地広島への訪問事業や平和の日事業を実施していく。戦後80年を迎えるに当たり、戦争や被爆の体験を風化させることなく後世に継承するため、体験講話会などを開催する。また、引き続きピースキャンドルナイトの持続可能な開催方法を検討していく。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由
戦後80年平和関連事業に伴う増額。
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
 - ・市民の平和意識のより広い普及啓発を図るため、広報の方法等を工夫していく。
 - ・親子ひろしま訪問団事業については、訪問先での学習等の内容を踏まえ、実施の効果が十分に得られる内容とする。
- 8 その他
 - (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・予算計上額（うち一般財源） 490千円（490千円）
 - ・内 容 市制施行70周年と合わせて戦後80年平和関連事業を実施する。
 - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
 - (3) 自然災害対策への取組
該当なし
 - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし